

ご褒美をもらえると信じて

中泊町立中里中学校

二年 佐々木 梅実

私の家族はお盆になると親戚のみんな

が集まるとご飯を食べています。でも今

年はそれができません。コロナウイルスの影

響で県外から帰って来ることができない人

がいるからです。毎年、会えるのを楽しみに

していたのに、今年は見えないんです。正直

に言うとお会いたいです。でも無理に帰って

来て、コロナウイルスに感染したりさせたり

りしてしまったり嫌な思い出たりしてしま

います。そうしなくないから、今年是我慢し

ます。来年の楽しみが増えたと思っ、てホジ

タイプに考えています。

授業中も買い物に行く時も、外を歩く時

も、いつでもマスクをします。苦しいし、暑

いし、じやまたし、本当はつけたくないです。

でも、飛沫感染予防として大事なことから

我慢します。はやくコロナウイルスがなくな
ってほしいからです。

毎日、コロナウイルスの感染者数が発表さ
れているのを見ると、自分はもちろんたけど、
家族や友達も感染してほしくないと思います。
そのためには、今は大事な人を思う気持ちや、
コロナがなくなつた時の事を前向きに考えて、
我慢を積み重ねていかなくてはいけないと思
います。

私は、大事な人と会えないのも、マスクを
しなればいけないのも我慢します。いつか
きつと、この我慢へのご褒美をもらえること
を信じているから。